

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

274号

2024年12月28日



常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

— 都心低空飛行問題について —

○ 固定化回避検討会 24 日開かれる

都内上空を定期的に飛ばす新ルートが固定化することを回避する方法を検討する会議、と理解していたがそうではなくて期待外れです。

24日に開かれた会議でも変化はもたらせず先送りとなりました。

○ プラスチックごみの回収

今年から板橋区でも始まったプラスチックごみの分別、順調なのか知りたいと思い、区の清掃リサイクル課に聞いてみました。

予想より分量的には少なかったそうですが、まだ汚れていたままだったり、電池やおもちゃなどが混入していたりするようです。

ごみを出す方としては100%プラにするよう努力したいと思いますが、包装袋に貼ってある紙をはがすのが一手間で、そのまま出しているのが気がかりでした。それは中間作業所とやらで人が目視で取り分けているそうです。

またプラごみは多いので、回収を週2回にし、普通ゴミを2回にする事も考えているそうです。

ラベルはがしについては、ノリの成分を業者に工夫して貰いたいと思います。すらすらはがせる物もありますから。

ついでに困りものの土・砂についても聞いてみましたが、やはりゴミとしての扱いをしていないとのこと。園芸用の廃土には皆困っているはずなので、定期的を集めて再利用するサイクルを作って欲しいと思いました。

○ ギャラリー服部閉館

12月24日、館内所蔵展の最終日、ギャラリー服部は静かに役目を終えました。長い間常盤台とその周辺の人々の文化活動の場を提供し続けた功績を讃えたいと思います。

こういう目立たない社会貢献は表だって表彰されることはありません。その価値を知っているのは私たち以外にはいないかも知れません。中島みゆきの歌のようにまさに「地上の星」と言えましょう。長い間有難うございました。

民間のギャラリーという施設にひとびとが頼らざるを得なかったのは、身近に適切な公共の施設が無かったからに他なりません。

旧図書館跡地には区民のために、是非とも多目的ホールなどの文化的施設を建設してほしいと切望します。

○ 「東京空色さんぽ」の取材

毎週日曜日22:54~23:00にTBSで放送される「東京空色さんぽ」という番組が、常盤台の駅舎・ロータリー・プロムナードを撮影するそうです。放映は来年2月の予定とか。

「じゅん散歩」と違い、今回は取材箇所がはっきりしているので、間違いなく常盤台が映されることでしょう。放映日時が分ったら次号でお知らせします。



○ 年末年始のご挨拶

今年もあとわずか。もっとゆとりをもってまちづくりニュースを発行すべきでした。配布して下さる皆様に申し訳ありません。

どなたも風邪やコロナに気をつけて良い年をお迎えください。

明治神宮外苑の樹木伐採

都内で貴重な緑地帯である明治神宮外苑の森林を再開発事業として何十本も伐採することが決まり、心ある人々が反対の声を上げていたにも拘わらず、ついに伐採が始まりました。

アメリカ人経営コンサルタント、ロッシェル・カッブさんは「神宮外苑1000本の樹木を切らないで、再開発計画は見直しを！」という、23万5千人の賛同者を超えるオンライン署名を立ち上げました。新宿区に対しても再開発認可取り消し訴訟を起こしています。

高い所から都心を眺めると、コンクリートのビル群がまるで墓場のようだとか或る人の感想です。殺風景な景観や環境は人間に良い影響を及ぼしているとは思えません。

タヌキはまだ住んでいます

しばらく話題に上らなかつたタヌキですが、ハクビシンに追われて常盤台からいなくなつたのかと思つていましたが、朝早く散歩する人が二匹のタヌキを見かけたそうです。親子連れだったのかも知れませんが。時々目撃するそうです。ハクビシンは夜行性で高い所を移動します。タヌキは地上でしか見られない動物です。

第九の合唱

年末になるとどの区でも市民がベートーベンの第九交響曲合唱付きを演奏するようです。板橋区でも毎年百人近くのにのぼる合唱の希望者を募集して、今年も十二月に演奏したそうです。

文京区民でありながら板橋区の第九演奏で歌ったSさんに聞いたところ、第九ばかり歌うマニアが多いそうで、どの区の合唱団に参加するか、毎年換える人も少ないので、比較するのも面白いのだとか。

板橋区は練習場が大山の文化会館といつも決まっています（毎回違う練習場というのが普通だそうです）、参加費用も高くなく、指揮者も良かった、と好評でした。珍しい！なぜなら板橋区の音楽関係の施設などの状況は、他区に比べて大変お粗末な状態にあり、集会所や地域センターにピアノがない、寄付を申し出たのに調律の予算が無いからと断わられた、など、情けない話しか聞かえてこないからです。

そんな中で第九の合唱団に関して良い評判が聞けたのは区民としてとても嬉しいことでした。

石原一子さん逝去

国立市の景観訴訟の代表者で、全国景観市民ネット代表の石原一子さんが百歳で亡くなりました。常盤台にも何度か訪れて私たちに勇気を与えてくれました。

常盤台公園のはなづくり

どうも皇帝ダリアは今年も公園では花を咲かせられなかつたようです。しかも東南側の残つた一本は黒ずんで枯れてしまひそうです。病気だろうかとか或る人に言ったらもう十二月なのだから、あれが普通で枯れていくのですよ、と言われました。なるほど自然には逆らえない現象なのでした。

キツチヨウソウについてMさんから意見を頂きました。Kさんから株を分けて貰つた際、キツチヨウソウ（吉兆草）と何度も聞いたので、全く信じ込んでいたのですが、Mさんは牧野植物図鑑に当たってみるとキツチヨウソウ（吉祥草）と出ている、と教えてくれました。これからはキツチヨウソウと表記することにします。どちらも大差ないと思われのおめでたい名前ですけれど。

今年はサクラもケヤキもすっかり落葉しています。まだ残っていて盛んに落葉を風に舞わせているのがトウカエデです。花壇の縁に何本もあるのが、パンジーやビオラの上に落ちて被さっています。折角のきれいな花が見えなくなってしまうので、通りがかりに身近なところは払ってやるのですが、師走というのにまだ枝に葉っぱが残っていて完全な冬木立になっていないのは、やはり地球温暖化のせいなのでしょう。

